

# 第2回 クラブ社会奉仕委員長会議を終えて

## 社会奉仕委員会

委員長 川上大雄 (大阪ユニバーサルシティRC)

2012年2月4日(土)、薬業年金会館において第2回クラブ社会奉仕委員長会議を開催しました。

本年度は岡部Gの東日本災害支援を地区として全力を挙げて行うという号令のもと、災害支援プロジェクトを立ち上げられ、この半期を経て、どんな成果が災害プロジェクトを通してあったのか、また、今後の問題点などを上半期の報告と下半期の取り組みとして、岡部G、災害支援プロジェクト井上委員長よりお話していただき、また、実際にどのような支援を具体的にしたかを映像・資料をまじえ、くずはRC、交野RC、大阪リバーサイドRCよりご報告いただきました。その他のプロジェクトはガバナー月信vol.7での井上委員長の災害支援プロジェクト報告(第7回)をご参照いただければと思います。また、財団法人道的補助金委員会より川田委員長に財団法人道的補助金の上半期実績と今後の取り組みについてお話いただきました。

さて、当地区社会奉仕委員会としてはこの災害プロジェクトをバックアップすべく“東北へメイクアップに行こう”キャンペーンを繰り広げさせていただいております。本当に数多くのクラブ、ロータリアンの皆様に東北に出向いていただき、東北の各クラブ

にメイクアップしていただきましたこと、改めて御礼申し上げます。最初、やはり、顔が見えない状況とテレビで見ているだけではわからない被害の甚大さを目の当たりにし、東北の各クラブの方々との話を通して、今何をすべきかが見えてきたと思います。

また、当委員会と第2520地区災害支援特別委員会との合同会議を仙台にてさせていただいた時にも、大阪の人達が、そこまで東北の事を考えてくれたのかと、顔と顔とがわかるロータリーの絆を改めて感じた次第であります。

被災地では内陸部においては、ある程度の復興が落ち着いていますが、沿岸部、福島原発などのエリアでは全てが遅々と進んでいない状況にあります。また、支援の内容も震災直後の緊急的なものから、メンタルケア、雇用の問題等、非常にデリケート且つ難しい問題に直面しております。本当の復興はまだまだこれからであり、我々ロータリアンとしてやれるべきこと、やらなければならないことが、いっぱいあると思います。

どうか、各クラブにおいても、今後もどのような取り組みをすべきかを、引き続きご検討いただきたいと思います。

